

# 教育センター学びの丘研修員における学びについて

湯浅町立山田小学校

教諭 前田 敏志

和歌山県教育センター学びの丘研修員として、1年間で学んできたこと及び、今後の展望を述べる。

研究においては、これまでの授業実践を省察する良い機会となった。「児童の学習意欲を向上させること」や「複式学級において児童を見取ること」といった課題に向き合い、それらを解決するための方法を考え、児童が主体的に学ぶことを目指し、提案授業を実施した。その中で講じた手立てにより、児童が主体的に学習を進める一助になったと実感している。

また、様々な研修員研修や専門性の向上を目指す研修等を受講することで修養を積み、小学校教員としての専門性を高めることもできた。そこでは、今後の実践に生かすことができる教科指導や生徒指導だけでなく、教員同士の関わりや学校運営に関する考え方も得ることができた。自分1人で解決を図るのではなく、組織的かつ協働的に取り組むことが重要であり、今後は、新たな課題の解決に向け、これまで以上にミドルリーダーとして、学校組織の中核を担う役割を果たしていきたい。

研究で明らかになった成果や課題を今後の実践に生かすとともに、この1年間で学んだ全てを児童や学校、地域に還元し、これからも意欲的に学び続け、教員としての資質・能力の向上を図っていきたい。